

平成 20 年 3 月 10 日

各 位

株式会社 北洋銀行

「(仮称)札幌ビジネスセンタービル」新築工事着工のお知らせ

～ H 2 0 年 3 月着工・H 2 2 年 3 月竣工予定～

(株)北洋銀行、交洋不動産(株)の 2 社が共同で進めております「(仮称)札幌ビジネスセンタービル」の新築工事が、平成 20 年 3 月に着工となります。また、同ビルの正式名称が「北洋大通センター」に決定しましたので、お知らせいたします。

1. 建物概要

名称	北洋大通センター
所在地	札幌市中央区大通西 3 丁目 7 番地
敷地面積	約 4,700 m ²
延床面積	約 59,000 m ²
容積率	約 1,050%
階数・高さ	地上 19 階・地下 4 階、約 96m
構造	鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造)
建物用途	大規模複合ビル(銀行、商業施設、オフィス、駐車場)
事業者	株式会社北洋銀行・交洋不動産株式会社
設計監理	日建設計・北海道日建設計・ドーコン特定共同企業体
施工	大林・伊藤・岩田地崎・丸彦渡辺・中山・田中共同企業体
予定工期	平成 20 年 3 月着工～平成 22 年 3 月竣工
総工費	約 1 8 0 億円

2. 計画建物の特徴

コンセプト

「北洋大通センター」は、北洋銀行・商業施設・オフィス入居の大規模複合ビルであり、低層部の札幌駅前通側には街並みの賑わいを演出する商業施設を配し、大通公園側には北洋銀行の店舗が入居、高層部には北洋銀行本部及びオフィスの入居とし、先進性と機能性を兼ね備えた最先端のビルを目標として整備してまいります。

周辺地域との調和

「北洋大通センター」は、札幌の発展に向けた「都心まちづくり」に資する建物とし、札幌を代表する駅前通・大通公園の環境に調和した、都心にふさわしい賑わいのある拠点の形成を目指します。また、地下2階部分は、現在札幌市を中心として建設中である「札幌駅前通地下歩行空間」(平成23年春完成予定)に幅広く接続(約50m)する予定であり、地下鉄大通駅と一体となった広場空間を創設し、ゆとりと賑わいの形成に資する空間作りを目指します。

外観

「北洋大通センター」は、周辺地域(札幌駅前通・大通公園)との調和を基本とし、大通地区を代表するランドマーク性を有するデザインを目指します。

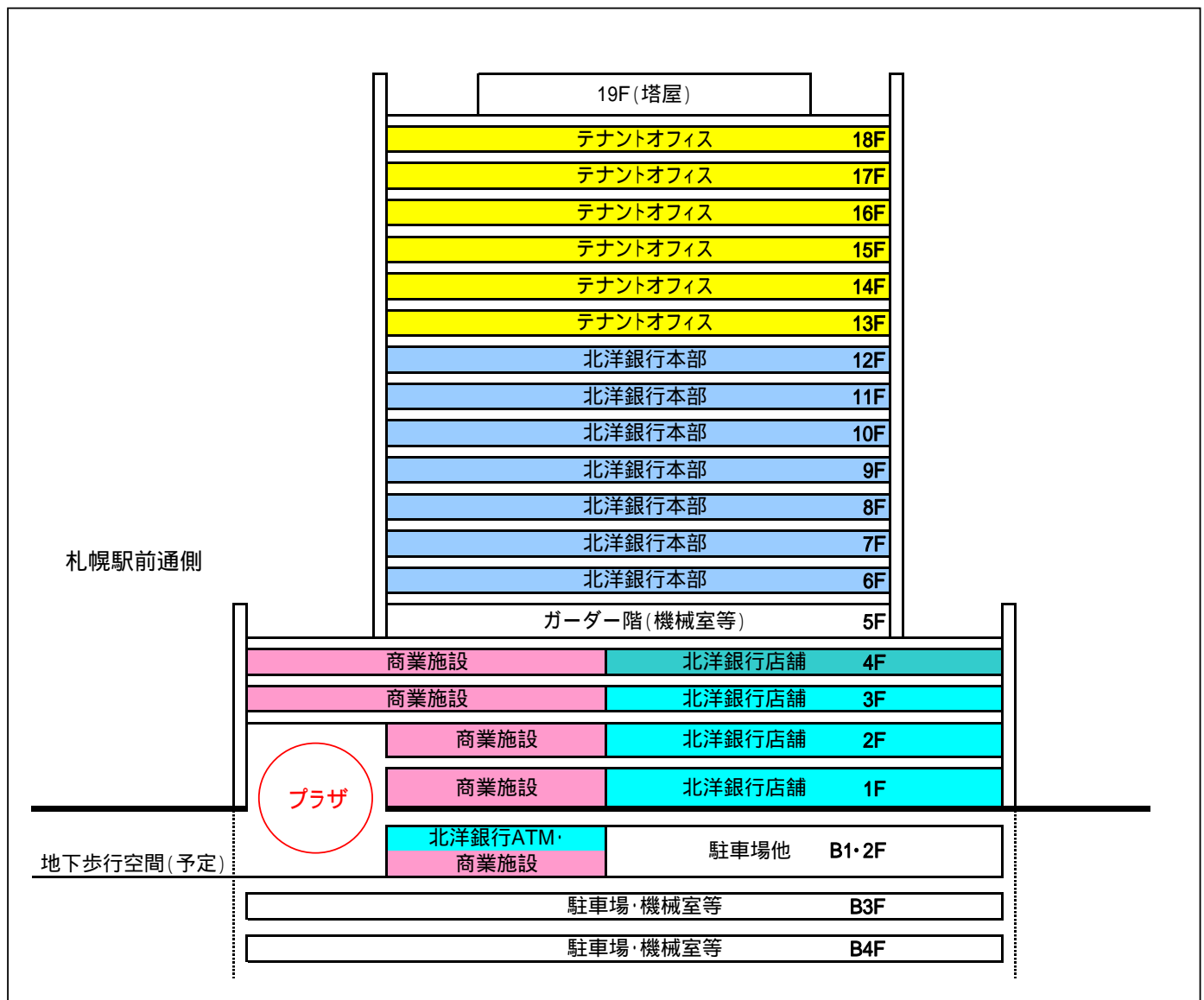
高層部は、石とガラスを主体とした組み合わせにより、「先進性」と「重厚さ」を併せ持つデザインとし、低層部のうち商業施設側には、ガラスカーテンウォールにより透明感、明るさ、賑わいを表現、北洋銀行店舗側は、「安定感」を表現するボリューム感のある石を左右に、その間に伸びやかな列柱を配し、全体として北洋銀行と北海道をあらわす「H」型とすることで、「新しい北洋銀行の顔」を表現します。

環境等への配慮

- ・外装は、二枚のガラスの間に空気層を作る「ダブルスキン構造」とし、自然換気と日射制御により環境負荷を抑えます。
- ・空調熱源は地域熱供給と電気による自己熱源の複熱方式とし、環境への配慮とともに、信頼性・安全性を確保します。
- ・誰もが使いやすい建物を目指し、館内のバリアフリー化を徹底、エレベーター・トイレに車椅子対応のものを配置する等、人に優しい建物を実現します。
- ・省エネルギー、建物のロングライフ手法、エコマテリアルの採用等により、CASBEE札幌(建築物総合環境性能評価システム)「A」ランクを目指します。

以上

「北洋大通センター」フロア構成(イメージ)



北洋銀行フロア

地下2階～4階の大通公園側には、北洋銀行大通支店および本店営業部が入居、また、6階～12階までは北洋銀行本部が入居予定であり、北洋銀行本店本部ビルとして中枢機能を集約し、これまで以上に充実したサービスを提供していきます。

商業施設フロア

地下2階～4階の札幌駅前通側には、商業施設を誘致する計画であり、大通地区の新しい商業エリアとして、にぎわいを創設します。

テナントオフィスフロア

13階～18階は、テナントオフィスフロアとし、利用者の視点に立ったフレキシブルなオフィス空間を実現するため、大組架構の採用により、1フロアを1,700㎡の整形な無柱空間とし、十分な階高、天井高、OAフロア高を確保。また、ハイグレード・ハイアメンティオフィスとして、セキュリティ、空調、電源、照明、ネットワーク等に先進の機能を導入し、快適な執務環境を実現します。

外観パース



大通公園側外観



札幌駅前通側外観